【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公開番号】特開2002-297404(P2002-297404A)
【公開日】平成14年10月11日(2002.10.11)
【出願番号】特願2001-98140(P2001-98140)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　 9/46
　Ｂ４１Ｊ　29/38
　Ｇ０６Ｆ　 3/12
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　 9/46　　３４０Ｂ
　Ｂ４１Ｊ　29/38　　Ｚ
　Ｇ０６Ｆ　 3/12　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月16日(2003.12.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のタスクが実行されるプリンタの制御装置であって、
前記プリンタに印刷機能を実現させるための具体的処理がそれぞれ規定された複数の処理タスクと、
ホスト装置から送られるプリントジョブデータに含まれる印刷指定情報にしたがって、前記複数の処理タスクの実行制御を規定したコマンドテーブルを作成する制御タスクと、を備え、
第１の処理タスクは、
前記コマンドテーブルに規定された内容を参照し、該参照した内容にしたがって第２の処理タスクを起動することを特徴とするプリンタの制御装置。
【請求項２】
前記制御タスクは、
前記ホスト装置からプリントジョブデータを受け付けた場合に、起動されることを特徴とする請求項１記載のプリンタの制御装置。
【請求項３】
前記制御タスクは、
最後に起動されるべき処理タスクから与えられる終了コマンドを受け付けた場合に、処理を終了することを特徴とする請求項１または２記載のプリンタの制御装置。
【請求項４】
前記制御タスクは、
前記複数の処理タスクのそれぞれが参照すべきサブテーブルからなる前記コマンドテーブルを作成することを特徴とする請求項１ないし３記載のプリンタの制御装置。
【請求項５】
プリンタの制御方法であって、
ホスト装置からプリントジョブデータを受け付けた場合に、制御タスクを起動する段階と、

前記制御タスクが、前記プリントジョブデータに含まれる印刷指定情報にしたがって、複数の処理タスクの実行制御を規定したコマンドテーブルを作成する段階と、
前記コマンドテーブルにしたがって前記複数の処理タスクを順次に実行する段階と、からなり、
前記複数の処理タスクが順次に実行されることによって、前記プリンタに印刷機能を実現させることを特徴とするプリンタの制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
「次タスクへのコマンド」には、その処理タスクが処理を終了した場合に、次タスクへ処理を渡すために発行するコマンドが格納され、「次タスクＩＤ」には、処理が渡される処理タスクのタスクＩＤが格納される。「前タスクへのリターンコマンド」には、その処理タスクが処理を終了した場合に、その処理コマンドを発行した処理タスクに対して発行するリターンコマンドが格納され、「前タスクＩＤ」には、そのリターンコマンドを発行する処理タスクのタスクＩＤが格納される。「エラーコマンド」には、その処理タスクにおける処理の途中で、処理の継続が不可能なエラー状態が発生した際に通知するコマンドが格納され、「エラーコマンド通知先タスクＩＤ」には、そのエラーコマンドを通知する処理タスクのタスクＩＤが格納される。「データポインタ」には、次タスクの処理に引き渡すべきデータが格納されているメモリ上のポインタを格納する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
処理タスク３２－２は、このコマンドの発行によって起動されることになる。処理タスク３２－２もまた、自身に規定された処理シーケンスを遂行した後、コマンドテーブル３３の指定された位置を参照し、その内容を取得する。処理タスク３２－２は、取得したその内容にしたがって次の処理タスク３２－３にコマンドを発行するとともに、コマンドテーブル３３の参照すべき位置を更新する。以降、同様に、最後の処理タスク３２－ｎまで、実行されるべきタスクが引き継がれていく。最後の処理タスク３２－ｎは、コマンドテーブル３３に示される内容にしたがって制御タスク３２に実行を引き継ぎ、自身の処理を終了する。そして、制御タスク３１は、最後の処理タスク３２－ｎから処理を引き継がれると、終了処理を行って、終了する。